

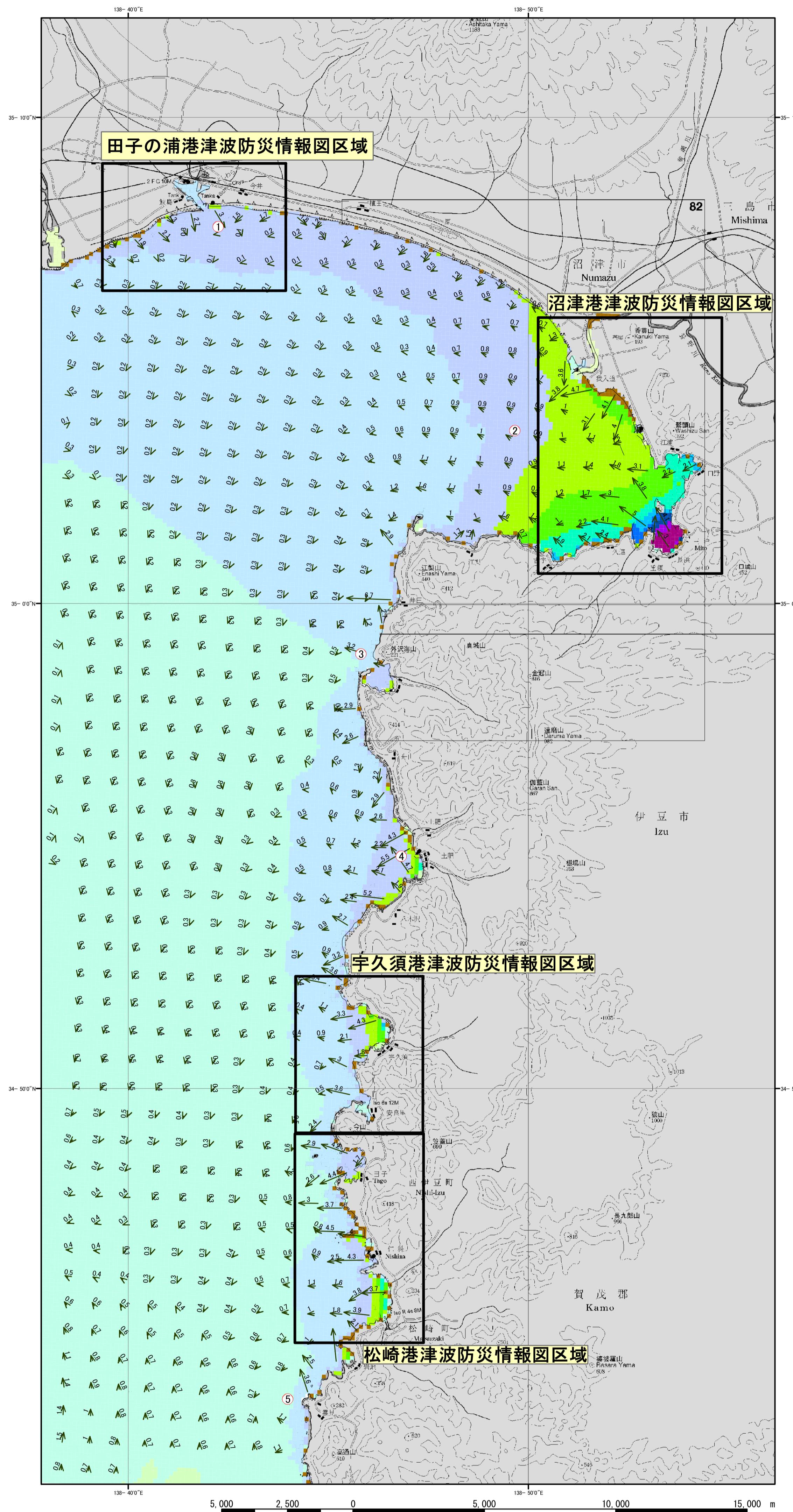
## 想定東海地震による駿河湾東部津波防災情報図広域版（引潮）

計算条件：最低水面・150mメッシュ

隆起量：平均11cm(-3cm~132cm)

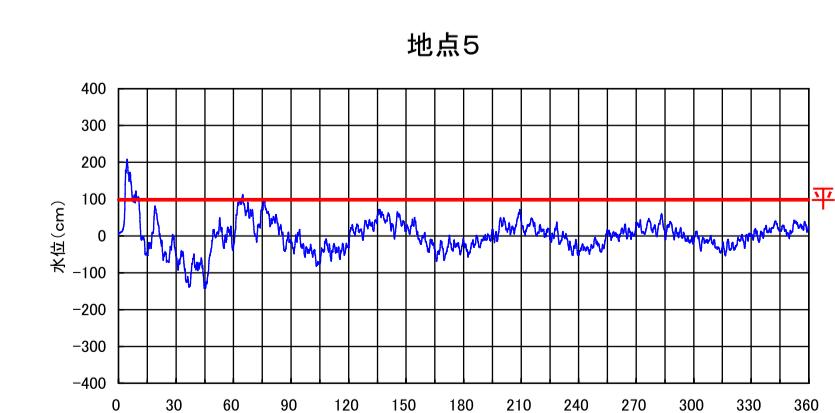
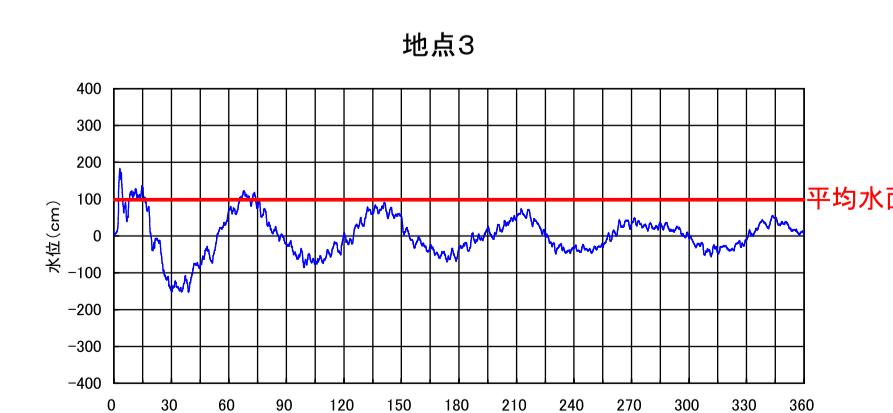
この図は150mメッシュで計算した津波の概要版であり、港内や沿岸域の情報は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。なお、「津波防災情報図」(50mメッシュで計算)が整備されている海域はそれを参照してください。

N  
W E S  
1:100,000  
座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系(WGS84)



この図は発災時から6時間のシミュレーションを行なっています。  
最大流の矢印は、6時間のシミュレーション時間から150mメッシュ7\*7個(1050m\*1050m)の49個から最大のものを表示しています。  
表示されている流速矢印は津波による流向、流速を示しており、海潮流の要素は考慮されていません。  
津波の到達時間は、水位が10cm上昇した時点を算出しています。  
経時変化図(水位変動のグラフ)は最低水面を基準面として、6時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に収束します。  
経時変化図に記載されている赤線は、潮汐が無いと仮定したときの海面(平均水面)を現しています。  
陸部の情報は海図から採用しています。  
計算に使用した地形データは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ及び海図を作製する際の基礎データを使用しています。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号平:15総使、第672号)



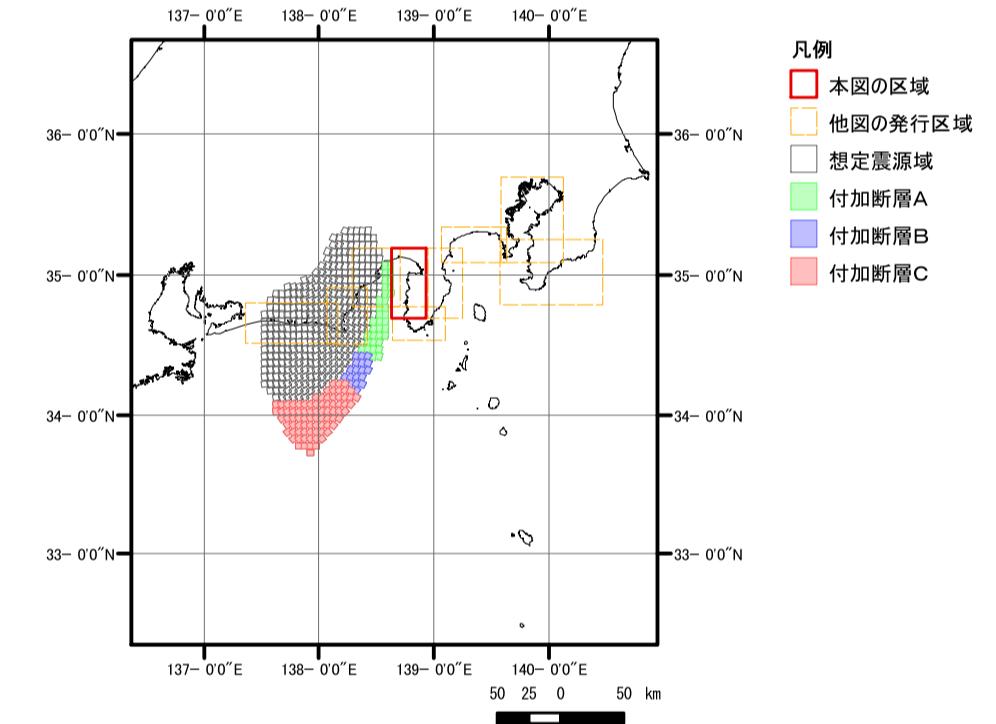
### 凡例

	露出域
	経時変化図出力点
	最大水位低下
600~最大737cm	
550~600cm	
500~550cm	
450~500cm	
400~450cm	
350~400cm	
300~350cm	
250~300cm	
200~250cm	
150~200cm	
100~150cm	
50~100cm	
50cm未満	

### 引潮時最大流 [knot]

	6 knot
	4 knot
	2 knot

### 本図の区域及び想定震源域と付加断層の位置

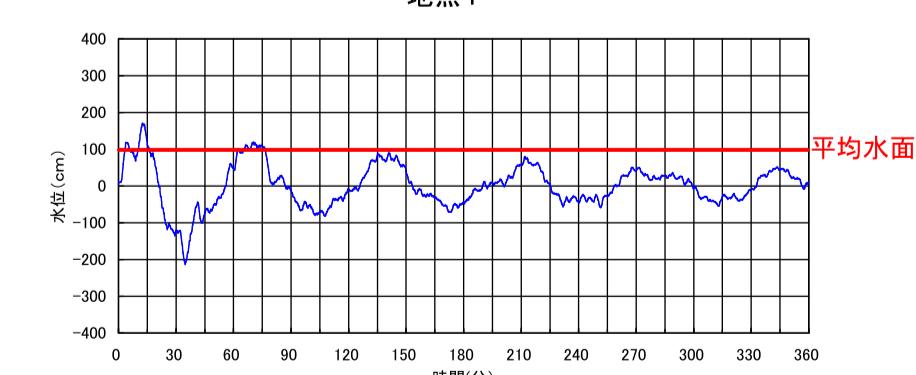


	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34°45'N, 138°02'E	19km
付加断層A	34°45'N, 138°30'E	4km
付加断層B	34°15'N, 138°20'E	6km
付加断層C	34°00'N, 138°00'E	7km

本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会  
(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

### 地点1



### 地点5

